

平和な社会築くのは“心” ～人を大切にし、尊敬し合う心を持っていれば戦争は起こらない～

若者コーナー

平和な社会築くのは“心”

瀧澤有希13＝中学生

(荒尾市)

私は今まで、戦争の恐ろしさを知らずに「悲惨だなあ」と人ごとのように思っていました。しかし、沖縄戦についての映画を見て、戦争に対する気持ちや見方がとても変わりました。

戦争は、家族が離ればなれにさせられたり、家族や友達を殺されてしまうなど、何一ついいことはありません。戦争は人を人と思わず、自分が生き残ればいいと他人を殺してしまう醜いものです。

私は、今の日本のように平和な社

会を築いていくのに大切なのは、心だと思います。日常的に起こりうる友達や家族とのけんかは小さな戦争だと思います。人と人とのけんかが国と国とのけんかになると、殺し合いの大きな戦争になります。人を大切にし、尊敬しあう心を持っていれば戦争は起こらないと思います。

世界には、平和ではなく、紛争が起こっている地域があります。平和な日本でも北朝鮮のミサイル発射など、いつどんな状況になるかわかりません。戦争が起こってからではなく、起こさないように対策するのが第一です。どんな状況になっても、自分の家族、友だち、そして身の回りの人たちと協力し、助け合えるような人になりたいです。

～自分の家族、
友だち、そして
身の回りの人たち
と協力し、助け
合う～

